第１回

温泉を活用した健康まちづくり事業
運動・スポーツ習慣化促進チーム会議

と　き：令和５年８月２８日（月）
午後７時００分から
ところ：三朝町役場　第２会議室

～～～～～～～～～～～～～～～ 日　　程 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

１　開　　会

２　座長あいさつ

３　辞令交付

４　自己紹介
資料１　委員名簿

５　概要説明（情報共有）
資料２　温泉を活用した健康まちづくり事業の概要・経過
資料３　基本構想における事業の３つの柱
資料４　温泉を活用した健康まちづくり事業運動・スポーツ習慣化促進チーム会議設置要綱
資料５　令和５年度に実施する運動・スポーツ習慣化促進事業
資料６　今後のスケジュール

６　その他

７　閉　会

資料１

温泉を活用した健康まちづくり事業
運動・スポーツ習慣化促進チーム会議委員名簿

所　　属　　等	職名等	氏名（敬称略）	備考
三朝温泉病院	診療技術部長	山根　隆治	温泉健康ワーキンググループ会議委員（R4）
三朝温泉病院	理学療法主任	別所　大樹	
三朝町社会福祉協議会	総務課長	松田　進	温泉健康ワーキンググループ会議委員（R4）
三朝温泉観光協会	職員	相生　祐司	
三朝温泉旅館協同組合	事務局長	中川　隼	
三朝町商工会	青年部副部長	新藤　俊貴	
NPOみささ温泉	常任理事	山内　有二	温泉健康ワーキンググループ会議委員（R4）
地域協議会連絡会	三徳地域協議会事務局員	深田　美鈴	
スポーツ推進委員会	副会長	森　正広	
スポーツ推進委員会	健康増進チームリーダー	米田　愛子	
三朝町	地域振興監 （兼企画健康課長）	青木　大雄	座長

事務局（三朝町）

所　　属　　等	職名等	氏　名	
観光交流課	課長	藤井　紀好	
福祉課	課長	矢吹　和美	
社会教育課	課長	角田　正紀	

※その他各課から必要に応じて担当者出席

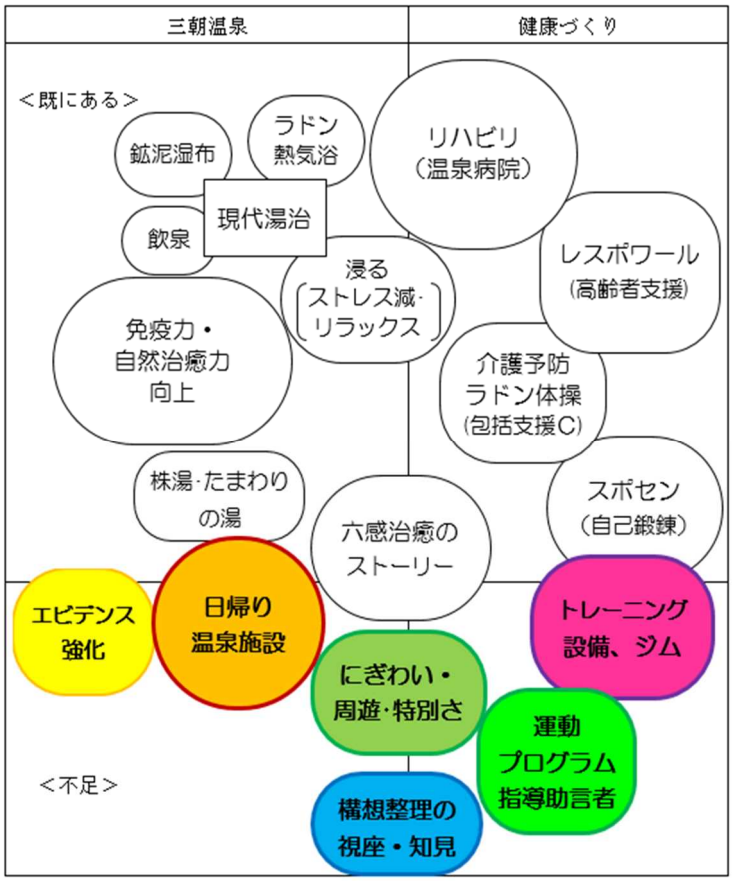
※庶務は、企画健康課が担当

資　料　２

温泉を活用した健康まちづくり事業の概要・経過

１　全体目標

住み慣れたこの町で、健康で自分らしく暮らす
⇒三朝温泉はじめ町の資源を有効活用し、
予防を総合的に推進（健康増進）する仕
組みづくり



２　取組状況

令和３年度

◆先進地視察（大分県竹田市、北海道豊富町）

令和４年度

◆ワーキンググループ設置

（基本構想原案作成、事業に係る協議・検討）

・第１回　ワーキンググループ会議開催
（全体）・・・・・１１月２１日

・第２回　ワーキンググループ会議開催
（健康部会）・・・１２月２１日

・第２回　ワーキンググループ会議開催
（温泉部会）・・・１２月２３日

・第３回　ワーキンググループ会議開催
（全体）・・・・・・２月　３日

ワーキンググループ会議の様子

◆検討委員会設置（基本構想作成、基本計画作成、事業に係る協議・検討）

令和５年度

・第１回　検討委員会開催・・・・・・・・・・・・４月１８日

・第２回　検討委員会開催・・・・・・・・・・・・５月１９日※書面開催

◆業務の委託

・温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画策定に関する補助業務を株式会社ルネサンスに委託

◆温泉を活用した健康まちづくり事業運動・スポーツ習慣化促進チーム会議設置

・第１回　チーム会議開催・・・・・・・・・・・・８月２８日

４　参　考

三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業
ワーキンググループ委員名簿

所　　属　　等	職名等	氏名（敬称略）	分野	備考
三朝温泉病院	事務部長	糸原　博史	健康	
三朝温泉病院	診療技術部長	山根　隆治	健康	
三朝町社会福祉協議会	総務課長	松田　進	健康	
三朝温泉観光協会	職員	リエヴェン・アントニー	温泉	
三朝温泉旅館協同組合	理事	御舩　秀	温泉	
三朝町商工会	理事	岡崎　良	温泉	
NPOみささ温泉	常任理事	山内　有二	温泉	
公募委員	-	米田　尚人	温泉	
公募委員	-	田村　博文	健康	
公募委員	-	牧田　かおり	健康	
三朝町	地域振興監	青木　大雄	座長	

三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業検討委員会

所　　属　　等	職名等	氏名（敬称略）	備考
三朝温泉病院	院長	深田　悟	
湯川医院	院長	湯川　喜美	
三朝町社会福祉協議会	会長	遠藤　英臣 ↓ 岩本　美樹	Ｒ５．７変更
三朝温泉観光協会	会長	足立　浩範	
三朝温泉旅館協同組合	理事長	沖田　雅浩	
三朝町商工会	会長	福田　茂樹	
NPOみささ温泉	理事長	新藤　祐一	
—	NPOみささ温泉　元職員	麻田　裕子	
三朝温泉現代湯治推進協議会	会長	御舩　秀	
鳥取県商工会連合会	中部商工会産業支援センター所長	前田　幸広	
鳥取県	中部総合事務所県民福祉局参事	岸田　孝之	
三朝町	副町長	赤坂　英樹	委員長

【温泉を活用した健康まちづくり事業】　資料３

基本構想における事業の３つの柱

基　本　構　想
WG会議：原案作成　R４．１１～R５．２
検討委員会：策定協議　R５．２～R５．４

健康づくりの現状

温泉の現状

課　題

既存計画との関連

事　業　の　方　向　性

スケジュール

①“三朝温泉”を知ってもらう

観　触

まずは、町民に三朝温泉の知識をもっと知ってもらい、知ることによって温泉活用への動機をつくる。
【取り組み例】
〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備
〇三朝温泉を学ぶ機会を創出
〇町民ラジムリエ資格取得応援・育成（現行制度の応用）
〇三朝温泉活用報告会の開催　など

【必要なこと】
◆ミュージアム機能の検討
◆既に実施中の「知る機会」整理
など

②温泉と健康づくり連携させる

心

温泉と健康づくりを連携させるため、入浴と運動を組み合わせた仕組みをつくる。
【取り組みの例】
〇三朝温泉独自の入浴作法を構築
〇三朝温泉健康アプリの開発　など

【必要なこと】
◆連携事業の試験実施
◆必要となるアプリの検討　など

③入浴等施設を整備する

聴　味　心　香

入浴ができる施設＋プラスα（必要な機能を追加）を整備する。
【取り組みの例】
〇入浴等施設の整備
〇相互補完の仕組み構築
〇特産品（食）との連携　など

【必要なこと】
◆機能の整理
◆財源確保
◆設計業務
◆調査業務など

基　本　計　画
検討委員会：策定協議　R５．７～

ミュージアム
・
知る機会の検討

温泉×健康
（連携事業）

整備施設計画
◆コンセプト
◆規模
◆場所
◆機能　等

資料４

温泉を活用した健康まちづくり事業運動・スポーツ習慣化促進チーム会議設置要綱

（設置）

第１条　温泉を活用した健康まちづくり事業のうち、温泉と健康づくりを連携させる取り組みについて効果的に協議及び検討するため、温泉を活用した健康まちづくり事業運動・スポーツ習慣化促進チーム会議（以下「チーム会議」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　チーム会議は、次に掲げる事項について協議及び検討を行い、町長に報告する。

（１）　温泉を活用した健康まちづくり事業における温泉と健康づくりを連携させる取り組みに関する事項

（２）　その他、温泉と健康づくりを連携させる取り組みに関して必要と認める事項

（組織）

第３条　チーム会議は、委員 18 人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから、町長が任命する。

（１）　観光分野に携わる者

（２）　医療福祉分野に携わる者

（３）　スポーツ振興分野に携わる者

（４）　地域振興分野に携わる者

（５）　地域振興監

（６）　その他町長が必要と認める者

【チーム会議のねらい・役割】

- 一体感の醸成
- 所属組織との情報共有
- 事業のＰＲ
- 事業への意見提供
- 次年度のアイデア出し

３　委員の任期は、任命の日から令和８年３月 31 日までとする。

（座長）

第４条　チーム会議に座長を置き、地域振興監をもってあてる。

（会議）

第５条　チーム会議の会議は、座長が招集し、主宰する。

２　チーム会議の会議は、その都度必要と認めた委員で開催する。

（庶務）

第６条　チーム会議の庶務は、企画健康課において処理する。

（その他）

第７条　この要綱に定めるもののほか、チーム会議の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附　則

この要綱は、令和５年７月 11 日から施行する。

資 料 5

令和５年度に実施する運動・スポーツ習慣化促進事業（スポ庁補助事業申請書類から）

①取組名称

温泉フィットネス

②選択事項　　※いずれか１つに〇をつけてください。

A	B	C	D－ア	D－イ

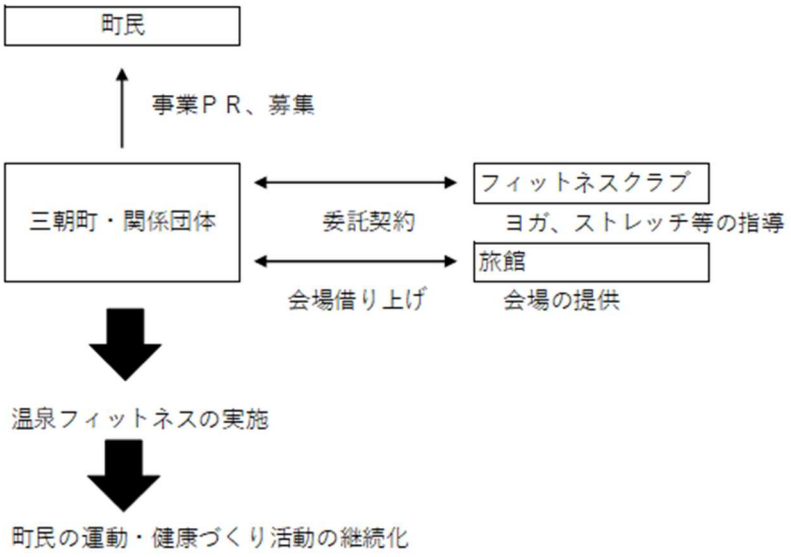
③取組目的

「温泉を活用した健康まちづくり事業」において、ひとつの柱である「温泉と健康づくりを連携させる」を実現させる。

温泉入浴⇔健康づくり（習慣的な運動）

イメージ写真：三朝温泉　河原風呂

④取組内容

取り組む運動・スポーツの種目	ストレッチ、ヨガ（年齢層、対象者によって分けて実施） ※子育て世代、働き世代にあってはヨガを、高齢者層にあっては、機能改善ストレッチを行うことを予定
実施時期	温泉フィットネス・・・１１月、１２月 オンラインフィットネス・・・１１月～２月
実施回数	温泉フィットネスは、カテゴリごとで４回実施 （延べ１２回）
具体的な取組方法	旅館会議室において、フィットネスクラブのインストラクターの指導するもとで参加者のカテゴリごとに簡単な運動を実施する。 その後、館内にある温泉へ入浴し、その後の血圧や体重のチェック、感想をヒアリングする。（入浴しない方は、終了後に当該チェック等を行う）ここでのチェックについては、町の企画健康課所属の保健師がその役を担う。 また、実施時期は２か月の間に４回としているが、その中間や後において、継続した取り組みとなるように、フィットネスクラブが監修するオンラインフィットネスにも参加をする。 旅館での簡単な運動＋α（温泉）をきっかけとし、その活動を継続したものとするため、オンラインでのフィットネスも組み合わせる。 これにより、三朝温泉独自の健康づくりと入浴の連携を作りあげるとともに、継続した運動習慣の確立を目指す。 

⑤対象者・募集の方法

対象者の特徴（背景、年代など）	カテゴリごとで分けて実施 ①子育て世代　３０代～４０代 ②働き世代　　５０代～６０代 ③高齢者世代　７０代～
募集人数（定員）	カテゴリごとで２０名
募集のために周知する人数	６，０４４人（全町民に対して周知は行う※対象者以外であっても、知人・家族からの声掛けも可能なため）
募集方法	以下の方法で、募集を行う ◎広報紙『町報みささ』で事業お知らせ・募集ＰＲを行う ◎防災行政無線で募集ＰＲを行う ◎町公式ＨＰで募集ＰＲを行う （http://www.town.misasa.tottori.jp/）
効果的にターゲットに参加してもらうための工夫	子育て世代･･･ 育児中の母や父は「子育て支援センター」や「保育所」などで、普段からスタッフと関わりがあり、会話のなかで「体を動かしたい」、「整えたい」というニーズを持っている人を探しやすい環境にあり、そういった方に個別に声掛けをすることも可能である。 働き世代・高齢者･･･ 担当課は、地域振興を所管しており、集落組織の広域的運営組織（地域協議会）の活動支援も担っているところ。当該組織には、働き盛り世代・高齢者世代との関わりもあり、個別に声掛けをすることも可能である。 また、担当課には健康づくり推進係があり、保健師が所属していることから、健康相談を実施している。該当する方に個別に声掛けをすることも可能である。

⑥スポーツに興味・関心がない者（運動・スポーツ無関心層）を取り込み、習慣化させるための工夫

・広報紙や町公式ＨＰでＰＲ ・健康づくり関係ポスターを公民館に掲示 ・健康相談等での個別アプローチ

⑦実施体制

人または組織等	役割
フィットネスクラブ	運動指導
温泉旅館	会場の提供
三朝町企画健康課	参加者管理、血圧等の測定、広報

⑧本取組における新たな挑戦

これまで旅館においてフィットネス体験を行ってきたことはあったが、オンラインフィットネスと組合せ、参加者が自宅等でもフィットネス体験ができるような取り組みはなかった。 こういった継続に向け、自分のタイミングで取り組みができる方法は初であり、挑戦的といえる。

①取組名称

温泉運動浴

②選択事項　　※いずれか１つに○をつけてください。

A	B	C	D－ア	D－イ

③取組目的

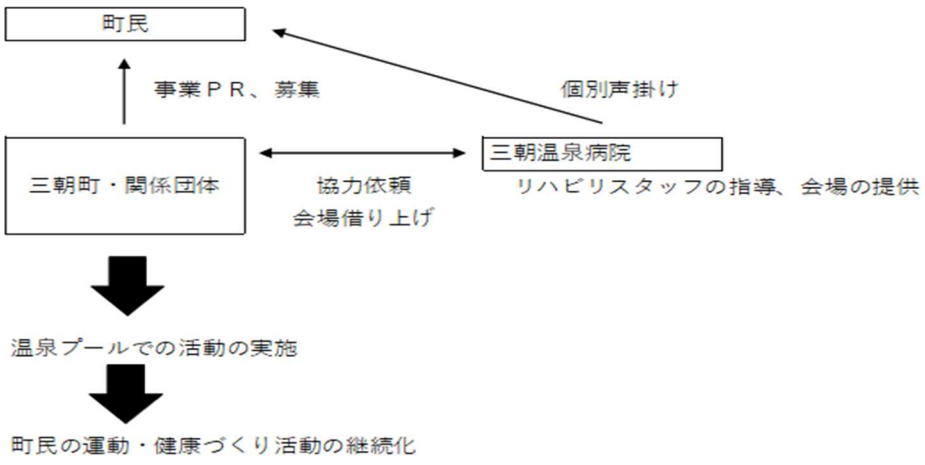
通常、一般的なトレーニングやフィットネス体験などは、足腰の状態が悪くない方が対象として実施されるケースが多い。
一方で、足腰の状態が良くない方にとっては、通常のトレーニング等に参加したくてもできず、体を動かす機会が少なくなってしまう状況にある。

このような状況において、誰でも体を動かし、健康になる機会を提供していくため、足腰に負担のかかりにくいプールにおいて、運動浴を実施することで、ケガ等をしている方や運動の機能が低下している方でも比較的容易に参加・体験することができるものとして実施する。

また、当該プールは単なる温水プールでなく、温泉でのプールであることから、温泉と健康づくりを連携させることにもつながる。

④取組内容

取り組む運動・スポーツの種目	温泉プール内での歩行等運動浴
実施時期	１０月～１２月
実施回数	８回
具体的な取組方法	三朝温泉病院内にある温泉プールにおいて、運動浴を実施する。 当該運動浴については、同病院でリハビリを行っているリハビリスタッフ（理学療法士）による指導を行う。 時間：１回あたり１時間程度を予定



⑤対象者・募集の方法

対象者の特徴（背景、年代など）	過去に怪我をした方等で足や腰に不安があり、体を動かすことはしたいが、通常のウォーキングなどへの参加は困難な方を対象とする。
募集人数（定員）	１回　１０人
募集のために周知する人数	６，０４４人（全町民に対して周知は行う※対象者以外であっても、知人・家族からの声掛けも可能なため）
募集方法	以下の方法で、募集を行う ◎広報紙『町報みささ』で事業お知らせ・募集ＰＲを行う ◎防災行政無線で募集ＰＲを行う ◎町公式ＨＰで募集ＰＲを行う （http://www.town.misasa.tottori.jp/）
効果的にターゲットに参加してもらうための工夫	三朝温泉病院と連携し、たとえばリハビリ等の治療が終了した段階の方へ、声掛けを行う。 また、担当課には健康づくり推進係があり、保健師が所属していることから、健康相談を実施している。該当する方に個別に声掛けをすることも可能である。 このほか、町包括支援センター（福祉課内）、介護施設等とも適切に連携し、個別の声掛けを実施していく。

⑥スポーツに興味・関心がない者（運動・スポーツ無関心層）を取り込み、習慣化させるための工夫

・広報紙や町公式ＨＰでＰＲ ・健康づくり関係ポスターを公民館に掲示 ・健康相談等での個別アプローチ

⑦実施体制

人または組織等	役割
三朝温泉病院	会場の提供・運動浴の指導
三朝町企画健康課	広報

⑧本取組における新たな挑戦

これまで病院内にある施設については、医療における利用のみであったが、町民の運動・健康づくりのために開放することは初の取り組みとなる。

資料６

今後のスケジュール

◆チーム会議

第１回　チーム会議　８月２８日※本日

第２回　チーム会議　９月下旬頃

想定内容＞＞＞運動・スポーツ習慣化促進事業の詳細紹介

第３回　チーム会議　１１月中旬頃

想定内容＞＞＞運動・スポーツ習慣化促進事業の途中経過報告

第４回　チーム会議　３月上旬頃

想定内容＞＞＞運動・スポーツ習慣化促進事業の結果報告・次年度事業検討

◆運動・スポーツ習慣化促進事業

運動・スポーツ習慣化促進事業の取組実施　１０月頃～２月頃

※関係団体と詳細を調整中